

青森県

Aomori



都道府県 基本情報

ようこそ学びの森 青森へ

「青森県」という教材をご提供します

「生きる力」をはぐくみ、確かな学力を育成する重要な機会として「体験」を通してより深く「学び」を得られるプランが求められている教育旅行。今、子どもたちには、主体的に判断・行動し、様々な状況に応じた問題解決の能力を身につけることが求められています。

美しい自然と、本州最北の地ならではの独特の風土、先人が築き、はぐくみ、受け継がれてきた文化や伝統など、様々な財産を有する青森県だからこそ、ご提案できる体験旅行があります。

体験を通じて、これからの自分のあり方・生き方、ともに生きること、支えあう心などについて発見してほしい、考えてほしい。

これが青森県を訪れる生徒たちに、私たちが伝えたいメッセージです。



航空

札幌	(50分)	青森	東京	(80分)	三沢
東京	(80分)	青森	大阪	(90分)	三沢
名古屋	(80分)	青森	札幌	(60分)	三沢
大阪	(90分)	青森			
神戸	(100分)	青森			



鉄道 各区間の所要時間は最速時間

東京	はやぶさ2時間58分		新青森	
大宮	はやぶさ 2時間35分			
札幌	スーパー北斗3時間13分	新函館北斗		はやぶさ 57分
新函館 北斗	はやぶさ57分			
新大阪	のぞみ 約2時間25分	東京		はやぶさ 2時間58分

青森県

県庁所在地

青森市

人口

1,227,653人（2021年1月1日）

歴史

- 青森県は、江戸時代に津軽氏が治めていた「津軽地方」と、南部氏が治めていた「南部地方」の2つの地域に大きく分けられます。津軽地方は、青森市や弘前市を中心とする日本海側地域で、南部地方は八戸市や十和田市・三沢市を中心とする太平洋側の地域。南部地方には、むつ市を中心とする下北半島の「下北地方」も含まれます。

自然

年平均気温（2020年） 11.6℃
県庁所在地（青森市）の月別平均気温（2020年） 4月 7.8℃ 8月 25.2℃ 12月 0.6℃

問い合わせ

（公社）青森県観光連盟 017-722-5080
青森県観光国際戦略局誘客交流課 017-734-9384

HP

青森県教育旅行ホームページ <https://www.aptnet.jp/shuryo/>

施設紹介 (県内施設の一部です。モデルコースで取り上げている施設をご紹介します)



郷土ゆかりの作家たちの作品に触れる 青森県立美術館

マルク・シャガールが描いたバレエ「アレコ」の巨大な背景画のほか、強烈な個性を持つ棟方志功、奈良美智、成田亨など青森県ゆかりの作家を中心に約4,000点の作品・資料を所蔵しています。

開館時間：9:30～17:00／観覧料（常設展）：
高校生300円（240円）、小・中学生100円（80円） ※（ ）は20人以上の団体料金



美術館の周辺一帯がアート 十和田市現代美術館

国内外で活躍するアーティストたちが美術館のために作品を制作。アートを体験する楽しさを知るとともに、現代アートの多彩な表現方法を学び、作品に込められた思いについて考えます。

開館時間：9:30～17:00
入館料：高校生以下無料



日本最大級の縄文集落跡 三内丸山遺跡センター

2021年7月に世界文化遺産に登録された北海道・北東北の縄文遺跡群。三内丸山遺跡は約5,900年～4,200年前の集落跡で、長期にわたって定住生活が営まれていました。ボランティアガイドによる遺跡見学のほか、組みひも・火おこし体験（220円）などの様々な体験ができます。／開館時間：9:00～17:00／入館料：高校生・大学生200円（160円）、中学生以下無料 ※（ ）は団体



イルカパフォーマンスは必見 浅虫水族館

ホタテの養殖など陸奥湾の海中を再現したトンネル水槽では、青森県ならではの生物の生態を学ぶことができます。津軽三味線の音色に合わせたイルカパフォーマンスも必見です。

開館時間：9:00～17:00／入館料：高校生1,030円（高校生520円）、小・中学生510円（260円）、幼児無料 ※（ ）は学校団体

施設紹介 (県内施設の一部です。モデルコースで取り上げている施設をご紹介します)



本番さながらのねぶた体験 ねぶたの家 ワ・ラッセ

大型ねぶたに囲まれ、ねぶた祭りの空気を体感することができるほか、ミニ金魚ねぶたなどのものづくり体験（1,000円）、囃子教室（各楽器30人まで無料）、ハネト着付け体験（2,000円）など体験できます。
営業時間：9:00～17:00／入場料：高校生460円（410円）、小・中学生260円（230円）※()は団体料金



津軽・弘前の伝統文化をまるごと体験 津軽藩ねぶた村

中の構造を見学できる大型の弘前ねぶたを展示し、お囃子の実演をしています。太鼓の演奏体験、金魚ねぶた絵付け体験（1,150円）、津軽三味線の演奏体験（1,200円）など様々な体験メニューがあります。
営業時間：9:00～17:00／入村料：中・高校生350円（300円）、小学生220円（200円）、幼児110円（100円）※()は団体料金



高さ約23mの巨大な人形灯籠 立佞武多（たちねぶた）の館

毎年1体の大型立佞武多がまつりに合わせて館内で制作され、展示室に加わります。館内では、金魚ねぶた製作体験、ねぶたライト、うちわづくりなどの体験ができます。／営業時間：9:00～17:00／入場料：立佞武多展示室は高校生500円（450円）、小・中学生300円（270円）、美術展示ギャラリーは小・中・高校生100円（90円）、セット入場券は100円引き ※()は団体料金

モデルコース 南部・青森エリア (八戸市・十和田市・青森市)

1
日
目

集合・出発

JR八戸駅
到着

蕪島・種差海岸
昼食／
散策

120分

十和田湖
遊覧船

十和田湖休屋
宿泊

2
日
目

出発

苔からはじまる
奥入瀬体験

80分

昼食
(青森市内)

三内丸山遺跡
センター

青森県立美術館
スクールプログラム

浅虫温泉宿泊

3
日
目

出発

浅虫水族館

ねぶたの家
ワ・ラッセ

青森空港

帰着・解散

■蕪島・種差海岸



種差海岸は、2013年5月に三陸復興国立公園に指定された、天然の芝生が広がる景勝地です。また、蕪島は、ウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されており、毎年3月上旬から8月頃まで、間近でその生態を観察することができます。種差海岸一帯では、自然保護の大切さと難しさ、自然の脅威について学ぶことができます。

■十和田湖遊覧船



十和田湖遊覧船では、二重式カルデラ湖の誕生と十和田湖に伝わる伝説、歴史等を船内案内で学習でき、また、国立公園、天然記念物に指定されている十和田湖の自然美を体験できます。

運行期間：4月下旬～11月上旬
運行時間：8:15～16:15
料金：中・高生920円、小学生620円
十和田観光電鉄株式会社

■苔からはじまる奥入瀬体験



国立公園特別保護地区、国の特別名勝及び天然記念物として指定されている奥入瀬溪流の成り立ちについて、コケという小さな自然を切り口にして学びます。

実施期間：4月～11月
体験可能時間：9:00～16:30
体験可能人数：最大40人
料金：レクチャ～コケ観察～奥入瀬溪流観察2,200円、こけ玉作り2,000円
(一財)十和田湖ふるさと活性化公社

モデルコース 津軽エリア (青森市・五所川原市・弘前市)

1
日目

集合・出発

青森空港
到着

三内丸山遺跡
センター

昼食
(青森市内)

青森ベイエリア
自主研修

浅虫水族館

浅虫温泉宿泊

2
日目

出発

太宰治記念館、
津軽三味線会館
津軽三味線体験など

昼食
(五所川原市内)

五所川原
立佞武多の館

弘前市
りんご公園

弘前市近郊宿泊

3
日目

出発

弘前市れんが
倉庫美術館

昼食／
津軽藩ねぶた村

60分

青森空港

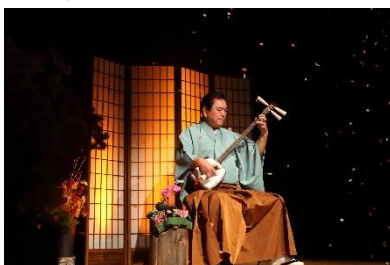
帰着・解散

■ 太宰治記念館「斜陽館」



開館時間：9:00～17:30 (10～3月9
は17:00) / 入館料：高校生400円
(300円)、小・中学生250円(200円)
※()は20人以上の団体

■ 津軽三味線会館



営業時間：4～11月 9:00～17:00
入館料：高校生400円(300円)、
小・中学生250円(200円)
※()は20人以上の団体

■ 弘前市りんご公園



営業時間：9:00～17:00
入園料：無料

■ 弘前市れんが倉庫美術館



開館時間：9:00～17:00
観覧料：高校生以下無料、一般は展
覧会により異なる

モデルコース 津軽エリア (青森市・五所川原市・弘前市)

1
日
目

集合・出発

JR新青森駅
到着

三内丸山遺跡
センター

(青森市内)
昼食

青森ベイエリア
自主研修

浅虫水族館

浅虫温泉宿泊

2
日
目

出発

太宰治記念館、
津軽三味線会館
津軽三味線体験など

(五所川原市内)
昼食

五所川原
立佞武多の館

弘前市
りんご公園

弘前市近郊宿泊

3
日
目

出発

弘前市れんが
倉庫美術館

津軽藩ねぶた村
昼食

60分

JR新青森駅

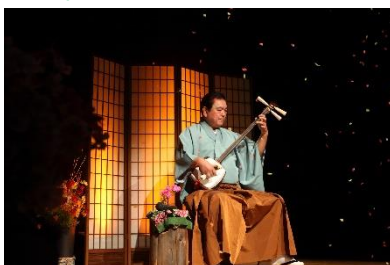
帰着・解散

■太宰治記念館「斜陽館」



開館時間：9:00～17:30 (10～3月9
は17:00) / 入館料：高校生400円
(300円)、小・中学生250円(200円)
※()は20人以上の団体

■津軽三味線会館



営業時間：4～11月 9:00～17:00
入館料：高校生400円(300円)、
小・中学生250円(200円)
※()は20人以上の団体

■弘前市りんご公園



営業時間：9:00～17:00
入園料：無料

■弘前市れんが倉庫美術館



開館時間：9:00～17:00
観覧料：高校生以下無料、一般は展
覧会により異なる

おすすめプログラム



おすすめポイント

青森で深く学ぶ 青森県「深」探求プログラム

私たちが生きる社会では、人工知能の進歩、ネットワークの高度化などにより、2030年には現存する仕事の約50%がなくなると言われ、生徒たちがこれからの社会で求められる力は大きく変わるとされています。

これからの社会では、機械では置き換えられない「**課題設定能力**(自ら問いを立てる力)」や「**合意形成する力**(多様な価値観、考え方から1つの合意を導き出していく力)」を身に着けていくことが重要です。

この2つの力を身に着けるために、スタディツアー(3時間)とワークショップ(3時間)がセットとなったプログラムを提供しています。

スタディツアーで獲得した原体験や一次情報をもとに、ワークショップで課題設定、合意形成を行います。

【9つのスタディツアー】

- 弘前ねぶたから地域における祭りの価値を考えるツアー(弘前市)
- りんご産業全体の可能性や未来を考えるツアー(板柳町)
- インテリア雑貨BUNACOから地域と地場産業が共に成長する未来を考えるツアー(西目屋村)
- 現代に求められる新しい庭の楽しみ方から、地域における造園産業の未来を考えるツアー(平川市)
- 高齢化が進む観光地を盛り上げる「まちそだて」活動から地域活性化について考えるツアー(黒石市)
- 現代の伝統工芸ビジネスの可能性を考えるツアー(津軽塗)(弘前市)
- 現代の伝統工芸ビジネスの可能性を考えるツアー(こぎん刺し)(弘前市)
- 14,000世帯の生活を支えるバイオマス発電所で、再生可能エネルギーのありかたを考えるツアー(平川市)
- 弘南鉄道大鰐線の廃止問題から地域の公共交通を考えるツアー(弘前市)

※各ツアーの受入可能人数は20～30名です。

詳しくは、あおもり教育旅行ガイドブック2021 (<https://www.aptnet.jp/shuryo/>からダウンロード可能)の33ページ～38ページをご覧ください。

ツアーの詳細やお申込みは、弘前観光コンベンション協会(0172-35-3131)にお問い合わせください。